

## 閉会あいさつ

---

**田巻松雄**（宇都宮大学教授、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター長）

今日のシンポジウムに集まっていたいただき、ありがとうございました。そしてこのプロジェクトに参加し、様々な形で支えていただいた皆様に心より御礼申し上げます。私は湯西川に二度行ったことがあります。また、この調査の準備過程で少し顔を出させていただきました。今日の皆さんの発表を聞いて、また湯西川に行きたくなりました。

センター長としてですが、今年多文化公共圏センターが設立 10 周年を迎えました。発足当初からお世話になっているのが日光市と日光市国際交流協会、継続的にいろいろな指揮をさせていただいた県内唯一の自治体です。今回 10 周年目にこういうプロジェクトが無事できたということを楽しんでいます。今後とも継続的に関係を続けていければと思っています。

関西から見ると栃木県は、どこにあるかも含めてよくわかっていない方が多いです。しかし日光という名前はさすがに知られているようで、日光が栃木県にあるということを伝えると、「日光のある県ですか」と言われるほど、それだけ有名な地域だということを実感してきました。また、栃木県と聞いたときに日本中の人々は日光と宇都宮大学を思い出す、ということでその点でこれからも頑張っていきたいと思います。